



発行所
 滋賀県遺族会
 滋賀県大津市におの浜
 4丁目2-34
 滋賀県遺族会館
 電話 (077)522-7227
 FAX (077)522-7233
 発行責任者
 滋賀県遺族会長
 松井 尚之

県平和祈念館(仮称)ワンコイン募金を

2月28日午後1時からアヤハレパークサイドホテルで滋賀県平和祈念館(仮称)設置県民募金発起人会並びに第1回実行委員会が開かれた。

冒頭、滋賀県健康福祉政策課の中川和彦参事から滋賀県平和祈念館について概要説明を受け、続いて滋賀県遺族会松井尚

之会長から滋賀県平和祈念館設置県民募金発案の経過説明があった。会議では会長、副会長、監事の役員選出と県民募金趣意書(案)、県民募金実行委員会則(案)などの審議が行われ、募金の方法などが決定された。

新に就任した河本英典会長は、「歴史を学んでいない人

が多いことが気掛かりだ。明治以降の日本近代史を習っていない人が多い。先の大戦から既に66年、わたくしも含め戦争を知らない世代が国民の8割となった今、戦争体験を風化させず、子どもたちに語り継いでいくことがぜひとも必要である。これを実現するのが

県平和祈念館施設である。各種団体が発起人

となつてはいるが、無理を言わず、そこに所属する個人個人が



県民募金発起人会で募金協力を呼びかける河本英典実行委員長(写真中央)

趣旨を納得したうえで募金することが何よりも求められる。ワンコインは500円硬貨で出しやすい額を示しているが、

多い方がよい。目標額をめざし格段の協力をお願いする」と述べた。

滋賀県平和祈念館(仮称)設置県民募金発起人ならびに県民募金趣意書は別記の通り。

(広報) 谷口晋子
田中正彦

滋賀県平和祈念館(仮称)設置県民募金趣意書

戦後すでに六十六年、国民の八割近くが戦争を知らない世代となりました。滋賀県では、戦争体験を風化させず、子どもたちに語り継ぎ、県民のみならず、いつまでも戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、平和を願う心を育むための拠点施設として平和祈念館(仮称)を、東近江市愛東支所の既存施設を活用して整備が進められています。

つきましては、私たちはこの素晴らしい事業を後押しするためにも、県民みんなが立ち上がり、広く県民の皆さんから寄付金を募り、それを平和祈念館設置費の一部として滋賀県に寄付することにより、この事業の成功に寄与したいと考えています。

平和を願って国のために尊い命を捧げられた方々のご意志にこたえ、みんなが平和な世界にするためにワンコイン(一口500円)募金をお願いいたします。

平成二十三年二月二十八日

滋賀県平和祈念館(仮称)設置県民募金実行委員会
 県民の皆さんへ

氏名	所属団体	氏名	所属団体	氏名	所属団体
井上 昇	滋賀県老人クラブ連合会会長	鳥塚五十三	滋賀県漁業協同組合連合会会長		
内池 章子	滋賀県母子福祉のぞみ会会長	中井 寿夫	滋賀県傷痍軍人会会長		
岳 尋 幸	滋賀県神社庁庁長	中野 璋代	滋賀県地域女性団体連合会会長		
桂 賢	滋賀経済同友会代表幹事	西村 岡 紹	滋賀県仏教会会長		
川瀬 重雄	滋賀県商工会連合会会長	福永 晃 仁	滋賀県青年団体連合会会長		
河本 英典	英霊にこたえる会滋賀県本部会長	松井 尚 之	滋賀県遺族会会長		
北中 勇 輔	滋賀県農業協同組合中央会会長	宮川 進	戦争体験を語り継ぐ会理事長		
國松 善 次	元滋賀県知事	宮川 孝 昭	滋賀県中小企業団体中央会会長		
坂口 康 一	滋賀経済産業協会会長	宮崎 君 武	滋賀県商工会議所連合会会長		
嶋川 尚	滋賀県社会福祉協議会会長	村西 俊 雄	滋賀県町村会会長		
曾我 直 弘	滋賀県立大学理事長	目片 信	滋賀県市長会会長		
大道 良 夫	滋賀経済同友会代表幹事	山田 利 治	滋賀県遺族会顧問		
高田 紘 一	びわこビクターズビューロー会長	山本 賢 司	滋賀県護国神社宮司		

平成23年度滋賀県遺族会の主要事業計画

年月日	事業名	主催	場所	年月日	事業名	主催	場所
23. 4. 5	滋賀県護国神社春季例大祭	県護国神社	県護国神社	10.31	遺族の友発行	県遺族会	
5.23	理事会・評議員会	県遺族会	県遺族会館	11. 6	滋賀県戦没者遺族大会	県遺族会	ひこね市文化プラザ
6.22~24	第50回沖縄平和祈願慰霊大行進(代表参加長浜市)	日本遺族会	沖縄	12. 上旬	理事会・評議員会・合同会議	県遺族会	大津市
6.30	遺族の友発行	県遺族会		12.10	県議会議員との懇談会	県遺族会	アール・グレイ ホテル
7. 2~ 4	沖縄「近江の塔」平和祈念・戦没者追悼式	県遺族会	沖縄	12. 中旬	日本遺族会戦没者遺族大会と陳情運動	日本遺族会	東京
8. 3	平和祈念・県下戦没者追悼式	県遺族会	大津市膳所公園	12.31~	除夜祭、元旦祭	県護国神社	県護国神社
8. 9	第30回慰霊と平和祈願リレー行進(大津~彦根)	県遺族会	湖南・甲賀・蒲生	24. 1. 上旬	新年祈願祭	県遺族会	県護国神社
8.13~15	第35回みたま祭り(5,000灯)	県遺族会	県護国神社	1.15	遺族の友発行(新年号)	県遺族会	
8.15	全国戦没者追悼式典参列	政府	日本武道館	3. 4~ 5	第38回靖国神社参拝旅行	県遺族会	東京
8.15	合同会議	県遺族会	県護国神社	3. 上旬	平和祈念館(仮称)開館セレモニー	県遺族会	東近江市
9. 中旬	皇子山陸軍墓地、英霊塔彼岸法要	県遺族会	皇子山公園、膳所公園	3. 中旬	理事会・評議員会	県遺族会	県遺族会館
9. 中旬	理事会・評議員会	県遺族会	県遺族会館	3.25~27	次世代戦跡訪問研修	県遺族会	沖縄
9.25	第38回遺族会スポーツのつどい	県遺族会	竜王町ドラゴンハット	3.28~30	次世代戦跡訪問研修	県遺族会	鹿児島知覧
10. 5	滋賀県護国神社秋季例大祭	県護国神社	県護国神社	随時	滋賀県平和祈念館(仮称)設置県民募金活動	県民募金実行委員会	
10. 5	高齢者に対し記念品贈呈	県遺族会	県護国神社	随時	遺骨収集写真・戦跡慰霊巡拝写真展	県遺族会	随所
10.15	女性部研修会	県遺族会	アール・グレイ ホテル	毎月15日	英霊塔月並み法要	県遺族会	大津市膳所公園
10~翌2	海外戦跡慰霊巡拝と友好親善訪問	県遺族会	フィリピン、ミャンマーほか	毎月15日	正副会長会議	県遺族会	県遺族会館

東日本大震災により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。地震、津波など辛い体験を話していただき、皆さまの心が癒されますよう、私たちはじつと耳を傾け待っております。

滋賀県遺族会は、東日本大震災で被災された皆さまを支援する義援金を募りました。6月23日現在の義援金は188万円となり、福島県遺族会に届けます。ご協力いただきました皆さまにお礼を申し上げます。

財団法人 滋賀県遺族会

身をもって戦争と平和「体感」

次世代の沖繩戦跡訪問研修

平成13年度にスタートした滋賀県遺族会の次世代戦跡訪問研修(鹿児島方面)が平成22年度に10周年を迎えた記念として、沖繩方面への次世代戦跡訪問研修が行われた。

3月25日から27日の3日間、滋賀県遺族会松井尚之会長を団長として、県内から小、中、高校生33名と県遺族会スタッフ8名、滋賀県からは健康福祉部の饗庭一弥主査の総勢42名が参加した。

今回は、次世代の若者に携帯電話、ゲーム機の持参禁止、

学生らしい服装での参加をと厳しい条件での見学研修となったが、現地ガイドの説明には熱心に耳を傾け、メモを取り、涙を流しながらの心のこもった研修が行われた。

旧海軍司令部壕・ひめゆりの塔・糸数アブチラガマ・南風原陸軍病院壕・嘉数高地・対馬丸記念館などでは教科書とは異なり、その場に立ち体験する学習は、戦争の悲惨さ、平和の尊さを強く感じる事となった。見学予定の平和祈念資料館はあいにく改修工

事中であったため、副館長の島袋淑子先生に宿泊先のホテルまで来ていただき説明を受けた。当時17歳で、ひめゆり部隊の一員であった島袋先生から聞く沖繩戦の様子は、次世代の学生たちに深く心に焼き付く内容の数々だった。

「近江の塔」慰霊祭では、あらためて滋賀県出身英霊の多さに驚きながら黙祷と献花が行われた。ホテルの大部屋では、次世代の学生と県遺族会スタッフとともにトランプゲームで過ごし、また、

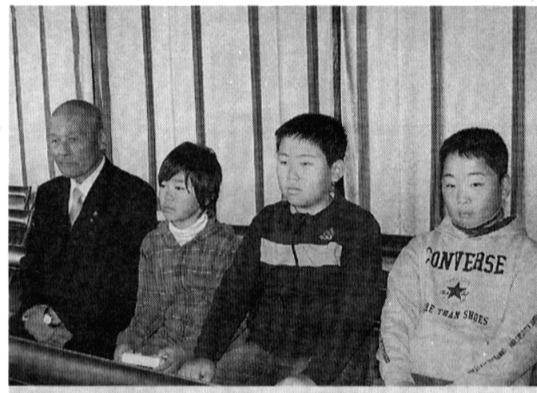


「近江の塔」慰霊式典に臨んだ参加者

英霊と震災犠牲者に黙祷

県護国神社で春季例大祭

滋賀県護国神社春季例大祭が4月5日行われた。今冬は例



春休み中で友達を誘い参拝した。写真右から岸田直樹くん(高島小学5年)兄の岸田一徳くん(高島中学1年)友達の岸田尋成くん(高島小学5年)左端は祖父の岸田孝一さん

年にならない厳しい寒さだったせいとか、境内の桜のつぼみは固く、

ようやく一本の木がほころびはじめたところだった。

3月11日に起きた東日本大震災で犠牲となられた多くの方々に黙祷を捧げることからはじまった。

山本宮司の祝詞に「被災者の復興と震災で亡くなられた多くの御霊安らかに。そして震災に遭った数多くの人々の身も心も安泰に」とあった。

滋賀県遺族会松井尚之会長の祭文にも「祖国の繁栄と家族の安泰を願って散華

往復の機内では初めての飛行機搭乗に喜び合うなど、楽しい中身の濃い沖繩県次世代戦跡訪問研修となった。

次年度も県内各地から研修に多くのみなさんが参加し、目指す次世代への継承が実現できることを強く望みます。

(総務企画部会 次世代活動 委員長 田中正徳)

戦跡訪問の旅で心に残ったこと

甲賀市立柏木小学校 6年 山中茜里さん



今なお残るアブチラガマ(糸数壕) 玉城村糸数にある全長約270mの病院壕

私が沖繩に行って一番心に残ったのは、糸数アブチラガマに行ったことです。アブチラガマでは、傷ついた人たちを手当てしていたそうです。

私たちがアブチラガマに着いたとき、ガイドさんが「滋賀県の遺族会の方が来られました」と、ガマの中に向かってくつ

「戦争はあつてはならないもの」と思った沖繩

「ああ、ここにたくさん人の魂があるんだな。そのことを沖繩の人は大切に

自然にできた物なので、穴が開いていたり、足下がぼこぼこだったり、上から水

「戦争はあつてはならないもの」と思った沖繩

入っていたら、暑くてたまらなかつたと思います。

小さな子どももお年寄りも、それまでふうに暮らしていたみんなが、戦争のためにこのガマに逃げてきて、どんなふうに住生活していたのかと思うと、胸が苦しくなりました。

20号ごろにも行きました。20号ごろは、手足がくさつた兵隊さんの手術をしていたそうです。最初はさすがにうって切断していましたが、

が落ちてきたりしてしました。ここにかくれていた人たち、穴から落ちそうになつたり、すべったりしたと思います。

米軍の攻撃があるので、外に出ることもできません。私たちがガマに入ったのは3月だったけど、ガマの中は、蒸されているような暑さでした。た

くさんの人が入っていたら、暑くてたまらなかつたと思います。

小さな子どももお年寄りも、それまでふうに暮らしていたみんなが、戦争のためにこのガマに逃げてきて、どんなふうに住生活していたのかと思うと、胸が苦しくなりました。

20号ごろにも行きました。20号ごろは、手足がくさつた兵隊さんの手術をしていたそうです。最初はさすがにうって切断していましたが、

運ばれてくる兵隊さんが多くて、さすがに前に切断されたり、失神する薬をかがされて、失神している間に切断されたり、最後の方にはま

すいも何もなしで切断された人もいたそうです。

手術の後にはあまりのいたさに死んでしまう兵隊さんもいたそうです。今では考えられないことだと思いましたが、戦争がなければ、死ぬことも、そんなつらい思いをすることもなかつたのに、と思

思いました。

戦跡訪問事業に参加した私は、その場所に立ち、見て感じて、はじめてわかることがたくさんあるなあと感じました。これまで、本で読んだりテレビで見たりして戦争のことは知っていたけど、頭で知っているだけだったなあと感じました。沖繩に行つて、心の底から「戦争はあつてはならないものだ」と強く思いました。

トラック諸島 戦跡慰霊巡拝報告



北水道の艦船「追風」撃沈地点(水深70m)で洋上慰霊祭が営まれた

軍・民とも戦渦のトラック諸島

平成23年2月6日から2月11日までの6日間、滋賀県遺族会中村武治副会長を団長として19名の巡拝団員が戦跡慰霊巡拝と友好親善でトラック諸島を訪問した。

湖北地方は近年希な大雪のなか、一足飛びで常夏の島へ。トラック環礁は、夏島、春島、秋島、竹島など14の島から成り、連合艦隊をすっぽり収容できる泊地に恵まれた海の要塞であった。

しかし、昭和19年米軍の徹底攻撃は日本軍だけでなく、本土へ引き揚げる女性や子ども、お年寄りの船にも及んだ。

今は、穏やかな環礁の島々であるが、当時の苦勞や残された戦禍の跡を随所に見つけ、胸の締め付けられる思いがした。

島々や多くの船が沈んだ洋上など各地で懇ろに線香を手向け、日本の故郷の様子を報告し、参加者はこそって英霊に語りかけた。

(広報 田中清一 谷口晋子)

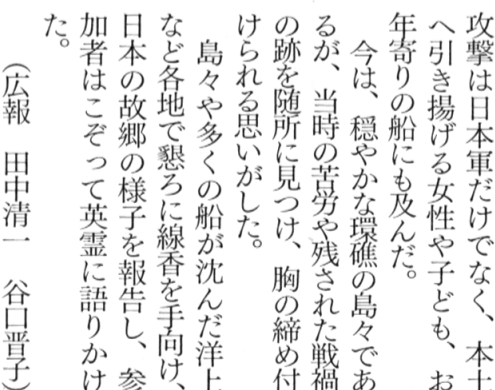
湖北地方は近年希な大雪のなか、一足飛びで常夏の島へ。トラック環礁は、夏島、春島、秋島、竹島など14の島から成り、連合艦隊をすっぽり収容できる泊地に恵まれた海の要塞であった。

しかし、昭和19年米軍の徹底攻撃は日本軍だけでなく、本土へ引き揚げる女性や子ども、お年寄りの船にも及んだ。

今は、穏やかな環礁の島々であるが、当時の苦勞や残された戦禍の跡を随所に見つけ、胸の締め付けられる思いがした。

島々や多くの船が沈んだ洋上など各地で懇ろに線香を手向け、日本の故郷の様子を報告し、参加者はこそって英霊に語りかけた。

(広報 田中清一 谷口晋子)



数千名の戦死者が出たトラック富士と呼ばれる夏島を望む

した。その日、何人か出征されるので、主人が代表で挨拶することになったので、聞きに行こうと50メートルほど出たところ、新しい下駄を履いていたのにブツと



13人で料理を囲むのが楽しみ

菊地みつさん(草津市)

お母さん

お母さんを訪ねて

昭和18年8月25日、主人は赤紙が来て出征することになりま

鼻緒が切れてしまいました。私は何かのお知らせだと思いましたが、誰にも言わずに心にしまっておきました。が、やはり主人は帰ってきませんでした。

菊地みつさんは、遺族会の役員として事業活動に長年尽力され、日本遺族会古賀誠会長から平成23年2月24日表彰されました。



上野きく江さん(土山町)

地蔵さん参りの日課

大正9年生まれで満90歳をおかげさまで耳は良く聞こえますが

を日課としています。季節の移り変わわりを感じながら人との出会いを楽しみに歩いています。暖かい日は畑にも出掛けます。子どもは一人でしたが孫3人曾孫7人になり、今は四世代8人で暮らしています。これも英霊の加護のおかげと感謝しています。一番うれしかったのは遺族会の皆さまとフィリピンのレイテ島へ息子と娘と3人で慰霊巡拝にお参り出来たことです。この先も一日一日を大切に変わらなく暮らせることが出来ればと思っています。



西川マスさん(草津市)



荒川ヨネさん(大津市)



田中セイさん(大津市)



木村よりさん(野洲市)



元氣な彦根市のおかあさんたち

春季例大祭に参拝のお母さん

子どもを残し南支で戦死しました(西村ツル子さん)写真右、「夫の戦死地は中文です」(杉本ミサエさん)写真中央、「夫はフィリピンのマニラ付近で戦死となっています」(小川アイさん)写真左

米原市、森田利枝さん(97)「デイサービスやショートステイを利用しながら家の中ではつたい歩きで頑張っています。夫は二人の子どもを残しソロモン諸島で戦死しました。車椅子で毎年参拝しています」

森田利枝さん(米原市)

次世代(若僧)が廻向厳修

堅田学区で戦没者慰霊法要

大津市堅田市民センター1階会議室には、堅田学区出身の戦没者遺影180柱が額に掲げて顕彰されています。

平成15年秋分の日を最後に、堅田学区自治連合会主催の学区戦没者慰霊法要は行わない旨の通告

堅田学区で戦没者慰霊法要を受けました。一方、堅田仏教和合会の住職からは、「戦後50年、60年経過すれども、先の大戦により国難に殉じられた英霊を顕彰することは未来永劫続けなければならぬ」との言葉をお仏教和合会主催



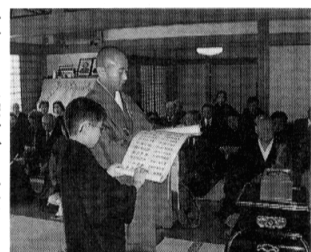
福聚院住持(若僧)の佐藤宗淳さん(満9歳)



風呂用椅子を踏み台で鐘をつく若僧

による堅田学区戦没者春季慰霊法要を営んでいただいています。堅田仏教和合会では学区内の11寺で構成、毎年幹事寺持ち回りで法要が営まれ、遺族は法要にお招きを受け参拝しています。

今年も、当番幹事の臨濟宗大徳寺派福聚院で厳修されましたが、今まで経験しない慰霊法要となり、参拝した遺族一同は



父住職と廻向を勤める若僧

大きな感激を受けました。それは、私たちが常々発信している「次世代に英霊顕彰を、平和を、語り継ごう」を、堅田仏教和合会住職の皆さんが学区戦没者慰霊法要で実践されていたことです。福聚院の佐藤宏宗住職(若僧)は、開会の鐘を鳴らし、読経で

「今年もみたま祭り今年もみたま祭りの季節が近づいてきました。5月には打ち合わせがあり、私の中ではもうみたま祭りが始まっています。6月には、神苑の葉刈、草取り、申込書等の発送と仕事が続いています。全委員がそろって、ワイワイ言いながら発送準備をしているとき

雪の護国神社で清掃奉仕

「比良の八荒」の3月26日、雪の中を車2台に分乗し、滋賀県護国神社へ着きました。早々にエプロンや割烹着など作業服に着替えてお祓いを受け、早速境内の草引き作業の開始です。手先の感覚がなくなるほどの冷たさの中、休憩もせず、ひたすら草を引きました。気がつけば午後1時半です。山本宮司の子息で禰宜山本大司さんも寒風の



清掃奉仕の草津市遺族会女性部のみなさん

吹くなか私たちと行動をともししていただきました。草津市遺族会のお母さんたちが永年続けてきた県護国神社境内の清掃奉仕作業を引き継いだものです。遺児の私たちも歳を重ね、いつまで続けられるか心細い

面がありますが、力を合わせ、出来る限り頑張ってきたと思います。英霊の「ありがとう、これからも無理

をせず頑張ってください！」の声がきこえてくる気がしました。(草津市遺族会女性部会長 福井敏子)

7月にはボールの位置の準備、吊る場所の割り振り、そして八月の本番へと続きます。

毎年、もう無理、参加出来ない、と思いつつも何とか続けてこられたのは、仲間たちの励ましと何よりも、父たちの守護のおかげだと思います。今年も元気で参加し、ささやかでもお手伝いできま

すようにと念じています。(英霊顕彰部会 祭祀(みたま) 副委員長 藤井初枝)



5000灯の提灯で埋まる滋賀県護国神社境内(平成22年8月)

英霊へ安らかにと祈念

靖国への参拝旅行

「年に一度は靖国へ」を合言葉に行ってきた滋賀県遺族会英霊顕彰事業の靖国神社参拝旅行は、3月3日から4日に行われました。

37回目を迎えた今回は県内各地より500名を超える方々が参加され、心新たに靖国神社の昇殿において英霊に親しく語り安らかなご冥福を祈念されました。

一日目は靖国神社参集殿で、日本遺族会古賀誠会長ならびに水落敏栄、有村治子両国會議員を迎えてのセレモニーと昇殿参拝を行った後、平成の大宮織が終わった浅草寺参拝と近くにそびえ立つ完成間近の東京スカイツリーを眺めながら一路石和温泉へ向かいました。宿泊先のホテルでは限られたひとときではありましたが、会員相互の親睦を深めていただきました。



満席の参集殿で「ようこそお参りを」と挨拶する古賀会長

遊就館に遺影展示を

靖国神社遊就館の教室に英霊の遺影が「靖国の神々」として展示されています。見学された遺族より、「自分の肉親である英霊のお姿を、この靖国神社の一室に、戦友の方々の仲間として飾りたいが、どうすればよいのか」の質問を受けています。

このたび、遊就館の史料課に手順を聞き、応募方法について説明を受けました。ご希望の遺族がある場合は、

申し込み用紙記述後は、遊就館へ直接かもしくは、滋賀県遺族会経由での発送も行いますのでご利用下さい。

(英霊顕彰部会長 杉江周作)

ホテルでは限られたひとときではありましたが、会員相互の親睦を深めていただきました。

二日目は快晴の天候に恵まれたなか、雄大な富士の姿を眼前に「忍野八海」「富士山本宮浅間大社」散策、参拝をおこない、二日間の参拝旅行を無事終えることができました。

ご参加いただいた会員の皆様並びにお世話になりました各郡市の皆さまに紙面を借りましてお礼を申し上げます。来年もお待ちしております。



快晴の忍野八海から望む富士山

御遺影の展示について(ご案内)
遊就館では、御祭神の在りし日のお姿を後世に伝えるため、ご奉納いただいた御遺影を「靖国の神々」のコーナーに展示しています。ご希望の方は、以下の要領で御遺影をご奉納下さい。

- 一、御遺影(御祭神の写真)・・・キャビネ版(もしくは2Lサイズ)でご奉納下さい。(注意)写真は返却いたしません。写真店等で複製してご奉納下さい。
- 二、御祭神に関する情報・・・次の事項について判る範囲でお書き下さい。(祭神の「階級」・「氏名」・「戦歿年月日」・「死歿場所」・「戦歿時本籍地」)
- 三、奉納者の「氏名」・「住所」・「電話番号」・「生年月日」・「御祭神との続柄」
- 三、奉納金・・・御一柱ご万円をお納めいただきます。

以上を遊就館の受付にご持参いただくか、左記宛先にご郵送下さい。

〒102-8246 東京都千代田区九段北三二一-1
靖国神社遊就館部 史料課 宛

*御遺影奉納を以て靖国神社崇敬奉賛会会員となります(一年間有効)。遊就館無料拝観等様々な特典がございます。詳しくは崇敬奉賛会のしおりをご参照下さい。

次年度から年会費のご案内をさせていただきますが、御継続は任意です。既会員の方も奉納金は金二万円となります。

ご不明の点がございましたら〇三三三六二一〇九九八 遊就館史料課までお問い合わせ下さい。

付記
一、ご遺族の方からの奉納に限りません。
二、御遺影の展示が完了するまで四ヶ月程度かかりますので、ご承知置き願います。
三、御祭神に関する情報に不明な点がある場合は、公文書による確認を依頼することがあります。
四、ご奉納に際する受納書・領収証等は、後日、靖国神社崇敬奉賛会会員証とともに郵送いたします。

靖国参拝応募作品

俳句

奥野 きぬ・選

- 古雛靖国社殿華やける
記憶なき父は靖国浅き春
(彦根市) 藤井 初枝
- 父の歳越へて桜の靖国へ
うすれゆく兵の御霊や春淋し
(竜王町) 大西 初枝
- 春浅に靖国詣ず遺児列車
父に逢い心満たしてさくらかな
(米原市) 藤田 紀代
- 父偲びつつ昇殿の春寒し
春の空仰ぎつくぐる大鳥居
(長浜市) 山田他家治
- 昇殿へ父に呼びかけ梅かおる
手を合わす靖国神社や春の風
(彦根市) 廣松 隆也
- 記憶なき父は桜の靖国に
春愁や互いに父を語り合ひ
(草津市) 福井 敏子
- 春かすみ富士のすそ野に雲一重
靖国の英霊に春遠からず
(東近江市) 村井 信夫
- 富士裾の忍野八海水温む
昇殿に座し七十路の膝寒し
(彦根市) 出口 素子
- 春風や靖国神社参拝に
快晴や残雪富士の勇姿かな
(長浜市) 菟田紀代子
- 宮寒し父の夢追いただ座しぬ
雪の富士凜として写る神田川
(愛荘町) 土田 幸夫

【総評】

昨年参拝した靖国神社昇殿でのひとときと同じ、戦死した兄や多くの英霊を思い出し胸に迫る作品ばかりです。

同じ仲間の立場から、今回の総評をさせていただきます。

- ① 季語がないのは具合が悪い。(俳句とは言わない)(標語ではない)
 - ② 五、七、五の最も短い詩であり、写生が基本である。
 - ③ 見たものをつくる。頭で作るのは良くない。
 - ④ 季語の重なりは全くないことはないが、通例では使わない。
- そのことを踏まえて一句ごとに赤ペンで添削いたしました。添削を要しない句もあります。

短歌

母坪みち代・選

- 今春行われた滋賀県遺族会靖国神社参拝旅行では、旅の思い出を綴る「俳句」と「短歌」を募集したところ、多くの皆さんから感動の作品を寄せていただきました。
- 俳句選者、短歌選者それぞれから添削と総評を受け、今回と次回(平成23年10月発行予定)に分けて掲載いたします。(広報委員会)
- 思ひ出は家族で訪ねし九段坂きよう
は夫婦で参拝の旅
(彦根市) 廣松美代子
- 平和なるいまの喜び思いつつ父在わ
します靖国の杜に
(長浜市) 堀口トクエ
- 「おとうさん」ここしか呼べない靖
国の桜の下で鳩とたわむる
(彦根市) 林 恵美子
- 夢に見る叔父と語りし靖国の国の平
和の姿勢悲しき
(東近江市) 内堀甚一郎
- 湖北より父に逢わんと靖国の門出に
清し淡雪の舞う
日東の自由平和を護る神永遠に伝え
ん靖国の宮
(長浜市) 長谷川順二郎
- 靖国の父に逢えし喜びを報告しよう
やさしい母星に
(米原市) 横田 明美
- 父恋し心で祈る遺児たちの桜ふくら
む靖国の杜
(大津市) 田中 靖俊
- 靖国の宮にたたずみ在りし日の父の
面影しばし偲ばん
靖国の碑にひざまずき生前の父を思
いて心とどけん
(栗東市) 松井 尚之
- 玄関に古びて光る「遺族の家」思い
掛けなき靖国参り
(高島市) 角野 彰夫

【総評】

このたびは大変なことをお引き受けし、不勉強なまま私なりに添削させていただきました。

歌は先ず作者が歌いたいことを、心ゆくまで歌いあげることが基本になります。(よい歌を詠むと気が晴れるものです。)自分だけが楽しむのでしたら、気楽に楽しんでら良いのですが、一首を人前に出詠することとなると、作者の歌いたいことがそのまま伝わるように作らなければなりません。読者が感動し何らかの内的な変化を持ってくれることが大切です。ひとり一人の資質や努力があつて歌の世界はひらけてきます。

人前に作者の気持ち伝えんと
ことば生かしつ添削に暮れ
私の心境でした。

私は毎月10首ずつ馬場あき子氏の添削を受けておりますが、10首のうち5、6首より選ばれません。それでも、詠うことにより自然を、自分を見つめ、表現の難しさに挑戦して見ます。

この度は、勉強させていただきました。ありがとうございました。